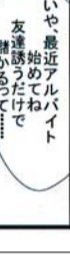


漫画研究同好会



黒沢真里子文学部准教授が担当する「英語ライティング」の昨年度の授業履修者が企画・取材・制作した向ヶ丘遊園駅周辺を紹介する英文のタウンガイド「Mukogaoka Yuen Town Guide」が完成した。

国際交流センターで外国人留学生の手助けをする「キャンパスアシスタント」をしている服部祐司さん(現・文学部4年次)以下、学年は今年のものだが、「留学生が自分たちだけで街を散策できる英文の案内マップがあればいいのに」と思ったことから企画がスタート。7人の履修仲間が協力を申し出てくれ、授業の一環として取り組むことが決まった。まず掲載したい情報をブレインストーミングし、飲食店・公共施設・アミューズメントと3つに分けて、約30のポイントを取材するところまで話が



まどまった。ところが服部さんは、中期留学生として後期から来・ネブラスカ大学に留学することに。「取材に参加できず心苦しかったのですが、信頼できる仲間が託しました。」

引き続きで活動に当たったのは、野呂拓也さん(文4)、北村真見さん(文4)、竹中恵太さん(文3)、小椋郁恵さん(文3)、藤田あゆさん(文2)、竹見航平さん(文3)。取材先の交渉、記事執筆、写真撮影、レイアウトを行った。前期のみ履修の田中一輝さん(経済3)も、夏休み中の取材を手伝ってくれた。

黒沢准教授の「英語ライティング」履修者が英文のタウンガイド作成



▲ 黒沢准教授を囲んで～履修者の皆さん～

英語の文章を作ることには勉強しているが、冊子を作るのは初めて。そこで黒沢准教授は雑誌「SHOW」を発行している同じ文学部

の川上隆志教授に相談した。川上教授は、第4号編集長の古野智章さん(4年次)を紹介し、メンバーは古野さんから雑誌づくりや編集ソフト・インデザインの使用方を教えてもらった。「同じ大学の学生が、質の高い雑誌を作っていることに驚き、モチベーションが上がりました」と振り返る。

国際交流センターからは、オレゴン大学からの元留学生で、現在はチュータとして、専大生の語学力向上の手助けをしているジョン・ファッシュンさんを紹介され、内容のアドバイザーと英文チェックをしてもらった。ファッシュンさんは「専大生のパワーを再認識しました。今回の経験は、学内のリソースをフルに活用してプロジェクトを遂行する方法や、英語を通じて社会と結びつこうと学んだ貴重な機会となったと思います」と話している。

冊子は、ホームページから印刷が可能(<http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~thb0622/townguide.html>)。この授業の一環として、起業家を目標としている大菊健太さん(商4)が、技術を提供した。冊子は今後、多摩区役所などにも配布を予定している。

「専大生のパワー」を再認識しました。今回の経験は、学内のリソースをフルに活用してプロジェクトを遂行する方法や、英語を通じて社会と結びつこうと学んだ貴重な機会となったと思います」と話している。

冊子は、ホームページから印刷が可能(<http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~thb0622/townguide.html>)。この授業の一環として、起業家を目標としている大菊健太さん(商4)が、技術を提供した。冊子は今後、多摩区役所などにも配布を予定している。

Mukogaoka Yuen Town Guide

英語を通して地域に貢献

英語を通して地域に貢献。国際交流センターからオレゴン大学からの元留学生で、現在はチュータとして、専大生の語学力向上の手助けをしているジョン・ファッシュンさんを紹介され、内容のアドバイザーと英文チェックをしてもらった。ファッシュンさんは「専大生のパワーを再認識しました。今回の経験は、学内のリソースをフルに活用してプロジェクトを遂行する方法や、英語を通じて社会と結びつこうと学んだ貴重な機会となったと思います」と話している。



専修大学フィルハーモニー管弦楽団(以下、専フィル)のアトリウムコンサートが6月10日、生田キャンパスで行われた二重奏。クラリネットとファゴットのための二重奏など全5曲を演奏し、休憩する学生たちを和ませた。

「専フィルサマーコンサート」6月24日、多摩市民館大ホールで18時30分から(18時開場)川崎市多摩市民館大ホールで「第23回サマーコンサート」を開催する。演奏曲目は「ドヴォルザーク/交響曲第8番ト長調」「マーラー/歌曲集『さすらう若人の歌』」など。入場無料。詳細はホームページ(<http://www.senphil.jp/>)で。



▲ 秋季リーグ優勝を目指し、練習に励む部員たち(左から福田さん、金子代表、鈴木さん)

練習に励む部員たち(左から福田さん、金子代表、鈴木さん)に、横濱国大、中央大にストレーティングを行って出場選手を戦目で慶応に惜敗し、夏には以降は順調に勝ちを重ねてきた。夏には優勝できるような精進一步届かないと話した。

勝ち点6、総勝数27で早大と同率首位

**関東学生囲碁団体戦**

**囲碁部惜しくも準優勝**

5月3日から5日までは大熊悠人さん(二部)だった。明治大学和泉校舎法3、福田諒さん(商)大熊さんに誘われて平成22年度春季関東1が7戦全勝で全勝入部した福田さんは学生囲碁団体戦が行われ、賞を受賞した。

昨春の一般一部団体戦は8校によるし、対局を楽しむことができた。各代ができたこと、賞に準優勝の専大囲碁部表5人の対戦成績で勝つなごったのだと思いは、前季優勝の早稲田敗を決する。専大は「まず」と話し、同学年大を下し、同大と勝ち46回全日本学生囲碁十の鈴木達也さん(ネット情報)と

**大熊 悠人さん(二部法3)** ともに「4年頑張りましたが、同率首位となった。後の意気込

**福田 諒さん(商1)** 年間頑張りましたが、同率首位となった。後の意気込

**個人戦7戦全勝で全勝賞を受賞**

秋リーグの順位が優先、傑戦・準優勝の大熊さん、第53回全日本学生代表の金子太一さん(経営4)は「準優勝惜しくも3季連続で準本因坊・第3位の王景(経営4)は「準優勝優勝となった。個人で弘さん(商4)を中心でも悔しさがあ



店舗は白山通りに

91) 6327

神田神保町1の44 ☎03(32

専大とともに 神田神保町探索

研究書の数も多い。店主の豊沼元さんは話す。「キリスト教の研究は聖書の解釈によって異なりますから、実にさまざまなものがあります。」

店の正面には、どっしりとした皮の背表紙の『イエナ版ルター全集』(全12冊・1568年)が置かれている。和綴じの『新約聖書使徒行伝』(1877年)など明治期の貴重な書も多い。

カール・バルト著作集、アルベルト・シュバイツァー著作集、賀川豊彦全集、内村鑑三全集など著作や全集も充実。ミッシェン系の学校や各地の教会が作った学校史、教会史など珍しいものが見つかるのも同店ならではだ。

主な顧客は牧師や研究者、神学系の学生。「地元ではなかなか手に入らない」と上京の折に立ち寄る地方客も。経済学系、教育界をリード、社会問題への取り組みやキリスト教研究にも熱心だった故郷谷三喜男さんもよく足を運んだ。「貴重な書を後世に残すことが大切、とおっしゃっています。」

「友愛書房」は、日本の社会運動の草分け的存在で、キリスト教伝道者として貧しい人々のために生涯をささげた賀川豊彦さんの命名。創業者、故郷沼澤さんの兄が、彼と活動を共にしたことが同店の始まりだ。豊さんは、戦後古書業界の有力者の一人。昭和初期、専修大学夜間の経済専科に学んだ。

友愛書房 東京都千代田区神田神保町1の44 ☎03(32

キリスト教にかかわるすべての書籍

友愛書房

研究書の数も多い。店主の豊沼元さんは話す。「キリスト教の研究は聖書の解釈によって異なりますから、実にさまざまなものがあります。」

店の正面には、どっしりとした皮の背表紙の『イエナ版ルター全集』(全12冊・1568年)が置かれている。和綴じの『新約聖書使徒行伝』(1877年)など明治期の貴重な書も多い。

カール・バルト著作集、アルベルト・シュバイツァー著作集、賀川豊彦全集、内村鑑三全集など著作や全集も充実。ミッシェン系の学校や各地の教会が作った学校史、教会史など珍しいものが見つかるのも同店ならではだ。

主な顧客は牧師や研究者、神学系の学生。「地元ではなかなか手に入らない」と上京の折に立ち寄る地方客も。経済学系、教育界をリード、社会問題への取り組みやキリスト教研究にも熱心だった故郷谷三喜男さんもよく足を運んだ。「貴重な書を後世に残すことが大切、とおっしゃっています。」

「友愛書房」は、日本の社会運動の草分け的存在で、キリスト教伝道者として貧しい人々のために生涯をささげた賀川豊彦さんの命名。創業者、故郷沼澤さんの兄が、彼と活動を共にしたことが同店の始まりだ。豊さんは、戦後古書業界の有力者の一人。昭和初期、専修大学夜間の経済専科に学んだ。

友愛書房 東京都千代田区神田神保町1の44 ☎03(32